

令和5年12月11日

東かがわ市議会議長  
渡邊 堅次 様東かがわ市議会議員  
久米 潤子

## 行政視察等報告書

1	日時	令和5年12月3日（日）	
2	参加者	久米潤子	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		廃校活用事例について	岡山県笠岡市 海の校舎シェアアトリエ
4	研修・調査内容	10月20日（金）13:30～16:30まで、文部科学省主催の「～未来につなごう～みんなの廃校プロジェクト」をオンライン受講し、3市の廃校活用事例発表を視聴した。この度、岡山県笠岡市とNPO 法人海の校舎大島東小が、廃校となった木造校舎をシェアアトリエとして活用している事例について、現地調査を行った。	
5	研修成果	<p>目の前には瀬戸内海が広がる趣のある校舎に「海の校舎」の校旗がなびいていた。運営者であるNPO法人は市と賃貸契約を結び、自身も入居。この土地を気に入ったクリエイターらが全国から集い、各教室で仕事をしている。</p> <p>市は大家として、雨漏り、シロアリ、樋を補修。その他の改修は手仕事のプロ集団としてNPO法人が改修し費用削減に努めている。事例発表の際は16事業者が入居していたが、視察の際は満室との報告を受けた。4月に開催された「うみの市」の集客は2300人。11月には大島小学校の児童が海の校舎を訪れた。視察日は、月に一度の「海の校舎開放日」だったことから、クリエイターらが仕事を休み、地域の人や、訪問者との物作りのワークショップで交流する姿や、海の校舎名物のカレーを味わう姿が見られた。頑固な職人のイメージはなく、事業者がお互いの知識や技術、仕事で生まれる端材をシェアしあい、新たな発想が生まれていた。シェアアトリエを希望する方は、開かれた心をお持ちで、地域住民とも笑顔をシェアできると感じた。</p> <p>当初の目的を終えた公の施設に、新たな物語をつむげないものかと考え、令和5年12月議会の一般質問で、本市の旧福栄小学校の活用推進について問うこととする。</p>	
6	費用	11,700円	



廃校を活用した「海の校舎 シェアアトリエ」

開放日は、教室や中庭でワークショップを開催

学校に入ると、仕事場を兼ねた、おしゃれで素敵なお店屋さんが並んでいる。

左は、イスやさん。イスのカバーを張り替え生まれ変わらせるお仕事。理科室に並ぶ新しい命を吹き込まれたパイプいすが太陽の光に輝いていた。どちらのお店にもSDGsの視点があり、訪問者に自然な気づきを与える。

右は、規格外の果物をドライフルーツにして販売している、入居者も集まるホッとさせるカフェ。黄色の商品棚は小学校に元々あったものを活用している。